共通一第5号様式 見積参加者選考調書（特定随意契約用）

見積参加者選考調書（特定随意契約用）

調達件名	平岡公園木道及び散策路改修検討業務（その2）
発注課	建) みどりの管理課
選定事業者	公立大学法人 札幌市立大学

随意契約の理由（相手方を特定した理由を含む。）

本業務は、平岡公園の木道及び散策路の改修について線形の配置案等を検討するものである。

当該木道は湿地を通過しているが、支柱付近に新たな水の流れることができ、河床が洗堀され水路が変化した影響で、一部箇所の乾燥が発生している。今後、湿性植物の生育への悪影響が懸念されることから、現在の植生分布を把握し、木道が湿性植物へ悪影響を及ぼさない配置にする必要があるため、有識者の調査・見解は必須である。札幌市立大学（以下、「市立大」という。）は、平成12年度から行っている平岡公園での湿地調査（約5年おきに実施）に継続して携わっており、湿地のこれまでの変遷を含めた現状を熟知しているものである。

また、市立大は、平岡公園で平成11年度から毎年1、2回程度開催している、札幌市・指定管理者・市民団体（平岡どんぐりの森）・有識者による公園利活用に関する会議（はらっぱ会議）に有識者として参加しており、各参加者と良好な関係を築いているところ。本業務では木道及び散策路の現在の利用状況・維持管理上の課題を把握するための聞き取り調査等を行うが、指定管理者や市民団体（平岡どんぐりの森）主な対象となるため、円滑なコミュニケーションが図られることが期待できる。なお、聞き取り調査や現地調査補助等については、市立大の学生が必要最低限の経費で実施できるという申出があり、建設コンサルタント等へ委託した場合と比較すると、調査費用が削減できる（約1,000千円程度）。

上記理由により、札幌市立大学は、本業務を滞りなくかつ最も経済的に進めることができる唯一の者であり、業務の性質又は目的が競争入札に適していないため特定随意契約とする。

根拠法令	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号（予定価格100万円超の場合に記入）
	地方自治法施行令第167条の2第1項第1号 札幌市物品・役務契約等事務取扱要領第91条第1項（ ） （ア～オのいずれかを記入）